

# 《NPO法人 足もと健康サポートねっと》主な活動履歴

■ 2009年11月25日(水)  
福大病院フットケアカンファレンス  
会場: 福岡大学病院

■ 2010年1月17日(日)  
第18回糖尿病フットケア研究会  
および市民公開イベント  
会場: エルガーラ8F大ホール パサージュ広場  
参加人数: 3,000人

■ 2010年1月26日(火)  
福大病院フットケアカンファレンス  
会場: 福岡大学病院新館地下1F

■ 2011年2月13日(日)  
第9回 日本フットケア学会年次学術集会大会  
市民公開講座  
会場: アクロス福岡 地下2階 イベントホール  
参加人数: 2,680人

■ 2011年12月10日(土)・12月11日(日)  
足のすべて2days 一歩こう!走ろう!キレイになろう!  
会場: 博多阪急 7階 イベントホール「ミュージズ」

■ その他  
2009年より各病院内での医療従事者やフットケア・フットウエア  
関係者への勉強会、他福岡県内県外での講演会等多数実施。



## 《NPO法人 足もと健康サポートねっと》今後の活動予定

- 市民セミナーや相談会の開催
- 定期的な勉強会・報告会の開催
- ウォーキングイベントの開催
- フットウェア・フットケアの啓発活動
- フットウェアの開発や研究
- 足に関する学術活動の推進
- 足に障害があっても快適に過ごせる環境を整備する
- 「寝たきり老人を作らない」運動の提案

## 賛助会員・サポーター募集中!!

詳しくは、TEL 092-401-5755(アンプロデュース株式会社)までお問い合わせ下さい。

## 編集後記

15年前、片足を失った時自分の足の傷のこと、義足のこと、靴のこと、  
いったい誰にどのように相談してよいのか分からず心底困った。その  
時にもし《NPO法人足もと健康サポートねっと》が存在していたなら、  
私は間違いなく自分の悩みを相談していただろう。15年来の夢が叶い、  
今、医師・看護師・理学療法士・義肢装具士・靴店・フットケアリスト・運動  
指導士・管理栄養士など足と靴の専門家が集結。皆様の足と靴と健康の  
悩みを解決できるように。  
(編集長 吉田 恵)

## FOOT LIFE GOOD LIFE【創刊号】

発行元: NPO法人足もと健康サポートねっと  
〒814-0153 福岡市城南区樋井川3-47-1  
TEL.092-541-2035  
http://ashimotokenko.com  
発行日: 2011年12月10日

# FOOT LIFE GOOD LIFE

— 足もと健康サポートねっと通信 —

創刊号

NPO法人 足もと健康サポートねっと <http://ashimotokenko.com>



陥入爪、巻き爪



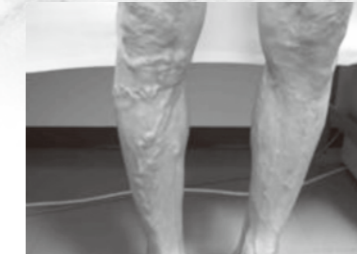
たこ(胼胝)、ウオノメ



外反母趾



深部静脈血栓症



下肢静脈瘤



白癬(爪白癬、足白癬)

## 【こんな症状はありませんか?】

- 「親指に食い込む、この痛い巻き爪を治す方法って? 一体どこで治療をすればいいの?」(巻き爪・陥入爪かも!?)
- 「足裏や足指に出来るタコやウオノメが痛い。ケアをしてもまたすぐ出てしまうのはなぜ?」  
(タコ・ウオノメ・ハンマートゥかも!?)
- 「怪我したわけでもないのに黒くなってしまった爪。白濁とした爪がボロボロと崩れるのはなぜ?」(爪白癬かも!?)
- 「折れ曲がってしまった親指の付け根部分。痛くて靴が履けない!!」(外反母趾かも!?)
- 「最近足がいつもむくんでいるのはどうして?」(深部静脈血栓症かも!?)
- 「なんだか足の血管が妙に目立つ…痛みはまだないのだけど大丈夫なのかしら?」(下肢静脈瘤かも!?)
- 「足先が妙に冷たい…しびれも感じる…歩くと足は痛むし…」

「これって、足に合っていない靴を履いていることが原因なの?」

それとも『私のからだ、どこがおかしいの…?』

【足のしびれや痛みは心筋梗塞や脳卒中を予知する重要なサイン!】でもあるのです。

一口に「足が痛い!」と言っても足の病気は実にさまざま。  
その症状により治療をする病院(整形外科・糖尿病科・循環器科・血管外科・皮膚科・形成外科など)  
や相談をする場所(フットケアサロン・靴店など)が全く異なります。

上記のような症状が出た時、あなたはいったいどこに相談に行きますか?

「どこへどのように相談に行けばよいのか分からない!!」



そんな時、お手伝いをするのが【NPO法人 足もと健康サポートねっと】なのです!

# 《NPO法人 足もと健康サポートねっと》って？

全ての人に、苦痛と故障なく歩く喜びを知っていただくため、糖尿病患者をはじめ、足に悩みを持った方に対する支援事業や医療機関やその他の足に関する事業者の連携等の支援事業を行い、足に悩みを持った方へ適切な処置を行う。また足に関するより健全な医療や関連業界の進展を図り、より快適で健全な社会の創造、経済の振興に寄与することを目的とする団体。九州圏内の医療関係者(医師・義肢装具士・看護師・理学療法士など)と靴・インソール製造や販売を含めた靴業界、フットケアサロン業界などの連携を図ることで足(脚)に悩みを持った方々の問題解決を速やかに行えるようサポートする事を目的とした団体です。



## ご挨拶

NPO法人 足もと健康サポートねっと  
代表 竹内 一馬

社会医療法人喜悦会 那珂川病院  
血管外科 部長  
循環器専門医・脈管専門医

足の健康は全身の健康維持の基礎となります。近年、糖尿病の増加が問題になっていますが、足壊疽の発生、そして切断を余儀なくされる数も増加しています。糖尿病患者さんはもちろんのこと、糖尿病患者さんでなくとも、足に悩みをもっている方は多いでしょう。病気の無い方は、足に悩みを持ったときに多くの方は、病院には行かず、靴屋さんで相談したり、若い方であればフットケアサロンなどで相談されるケースが多いのではないのでしょうか。その時に、その行った場所で問題が解決しない場合、「では、お客様の住所のお近くだと、〇〇病院がありますので、そちらをご紹介します」とすぐに対応出来るでしょうか？そしてまた、病院を受診された場合、その病状に応じた治療だけでなく、「靴の履き方や歩き方の指導」を行ったり、「ここの靴屋さんに行かれたらいかがですか」とまで説明できるでしょうか？病院では保険の関係ですべてのケアが出来るわけではありません。その時に足のケアをしてもらう必要のある患者さんに、「ここのフットケアサロンでケアしてもらってください」とまで言えるでしょうか？

一方靴店やフットケアサロンでは医療的なことまでは行えません。

現在は病院/クリニックと靴・インソール業、フットケアサロンの横の繋がりはほとんどありません。この繋がりが整備されれば、足にお悩みをもったお客さんもしくは患者さんは、路頭に迷うことなく、最適で必要な場所へ案内されることになるわけです。我々《NPO法人足もと健康サポートねっと》は、そういった方々へのサポートを行っていきたく考えています。そしてさらに、病気の方も健康な方も、予防医学の観点から、歩く喜びや楽しみを知っていただき、一人でも多くのみなさんの健康維持や増進、病気の改善にお役立ていただければと願います。我々も様々な違った職種の方に関するエキスパートが集まることを生かして各々の経験や知識を共有することで、さらなる質の向上を目指していきたく考えています。

# NPO法人足もと健康サポートねっと(理事紹介)

理事長:竹内 一馬

(社会医療法人 喜悦会 那珂川病院 血管外科・循環器科  
特定医療法人 順和 長尾病院 循環器科・フットケア・フットウェア  
福岡大学医学部 心臓血管外科非常勤講師)

副理事長:有菌 泰弘(有菌義肢株式会社 専務取締役)

倉富 英史(有限会社クラトミ 代表取締役社長)

理事:柳瀬 敏彦(福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科 教授)

安西 慶三

(佐賀大学医学部 内科学講座 肝臓・糖尿病・内分泌内科分野 診療教授)

竹之下 博正(福岡大学病院 内分泌・糖尿病内科 助教)

吉田 恵(shoe closet PASSO & 代表)

監事:西田 壽代

(足のナースクリニック 代表・日本フットケア学会副理事長)



理事長  
竹内 一馬

社会医療法人喜悦会 那珂川病院 血管外科 部長  
循環器専門医・脈管専門医  
元は内科医であるが、現在は血管外科医。福岡大学病院では主に末梢血管手術を専門としていた。福岡市内の長尾病院や那珂川病院では、循環器診療に加え、フットケア・フットウェア外来を行っており、巻き爪や下肢静脈瘤、下肢切断術後の治療など幅広く足診療を行っている。福岡・九州にフットケアを普及させたいとの思いから2011年《NPO法人足もと健康サポートねっと》を設立。  
那珂川病院  
福岡県福岡市南区向新町2丁目17-17  
電話:092-565-3531



副理事長  
有菌 泰弘

熊本 有菌義肢株式会社 専務取締役  
義肢装具士

義肢装具士として足との関わりが深く、靴の勉強のためにドイツに留学した経験を持つ。熊本県八代市が拠点であるが、福岡市内では長尾病院、那珂川病院、福岡大学病院で積極的にフットウェア・義肢装具の製作に携わっている。全国的にも珍しい義肢装具会社直営の靴店「シュプール」を熊本市内で営業。竹内とともに長尾病院フットウェア外来を立ち上げ軌道に乗せた。

有菌義肢株式会社

熊本県八代市長田町3300番地

電話:0965-33-3983



副理事長  
倉富 英史

有限会社クラトミ 代表取締役社長

70年以上の歴史を持つ飯塚の老舗靴店シューズクラトミの3代目。日本のコンフォートシューズ専門店を目指すべく直方から福岡へ出店。九州一の豊富なコンフォートシューズの在庫を持つ。積極的に新しいものを取り入れ、九州(福岡)から全国へ情報発信を行いたいと考えている。現在はシューズクラトミ大濠店の他博多阪急百貨店にも「楽歩堂」を出店。良い靴を求めて世界中に靴道道に出かけている。

シューズクラトミ

福岡県福岡市中央区荒戸1丁目5-20

シールズビル一階

電話:092-791-8542



理事  
柳瀬 敏彦

福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科 教授

昭和55年九州大学医学部卒。平成21年4月より福岡大学内分泌糖尿病科 教授。内分泌と糖尿病、抗加齢の専門医。全身を診れる内分泌科医及び糖尿病医の育成や生活習慣病の病因、病態の解明・創薬、再生医療等の先端医療の基盤研究等に力をそそいでいる。

糖尿病患者のフットケア関連研究会や市民公開講座等の代表世話人を務める。

福岡大学医学部 内分泌糖尿病内科

福岡県福岡市城南区七隈7丁目45-1

電話:092-801-1011



理事  
安西 慶三

佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科教授  
内科学会総合内科専門医・指導医

糖尿病学会専門医・指導医

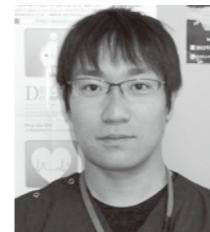
日本下肢救済・足病学会 評議員

糖尿病診療に精通し、佐賀県内の糖尿病診療の中心となり、フットケア部門も早くから内科での足診療の必要性を訴え、診療・人材育成・啓発活動を行っている。糖尿病および糖尿病足病変関連学会の評議員を務め、2010年に主催した市民公開講座の実行委員長を務める。趣味はテニス。実力は世界医師テニス選手権優勝の腕前。

佐賀大学医学部

佐賀県佐賀市鍋島5丁目1-1

電話:0952-34-2154



理事  
竹之下 博正

福岡大学医学部 内分泌糖尿病科 助教

福岡大学病院 糖尿病フットケア外来責任者  
総合内科専門医

糖尿病足診療のメッカである京都医療センターで勤務をしていた経験を持ち、フットウェアの知識も豊富。内科医であるが外科的な処置も行え、足壊疽をみると胸騒ぎが収まらないほどの足オタク。子供と足の骨格標本で遊ぶこともある。将来の夢は靴屋になること。糖尿病認定看護師と共に糖尿病フットケア外来を行っている。

福岡大学医学部 内分泌糖尿病内科

福岡県福岡市城南区七隈7丁目45-1

電話:092-801-1011



理事  
吉田 恵

婦人靴専門店

shoe closet PASSO&(PASSAND)代表

事故により片足を切断したことをきっかけに靴屋へ転職。医療従事者・義肢装具士・靴店他足や靴専門家と、足に悩みを持つ方とのパイプラインになりたいと《ピアサポートの出来る靴屋》を目指している。足や身体に負担を掛けない履き心地がよい靴、且つファッション性も含めた女性の視点での靴販売とカウンセリングを含めた1対1での丁寧なフィッティングに力を注ぐ。女性起業家としての講演も多く、各種メディアでも紹介されている。

shoe closet PASSO&

福岡県福岡市城南区鳥飼6-1-24シェアアットビル1F

電話:092-210-9925